

現構想	新構想	補足
1 自然再生の対象となる区域 1-1 名称 1-2 自然再生の対象となる区域 1-3 蒲生干潟の概要とこれまでの取組 2 蒲生干潟の現状と課題 2-1 現状と課題の整理 ・地形、底質、塩分濃度、干潟間隙水、植生、底生動物、大型藻類、魚類、鳥類、人の空間利用、重要種 2-2 課題の関連整理 2-3 現況評価及び課題のまとめ 3 自然再生の考え方と自然再生目標 3-1 自然再生の基本的な考え方 3-2 自然再生の目標 4 目標を達成するための取組 4-1 目標を達成するための取組 4-2 自然再生計画 4-3 維持管理計画 5 役割分担 5-1 役割分担	1 蒲生干潟の概要とこれまでの歩み 1-1 名称 1-2 自然再生の対象となる区域 1-3 蒲生干潟の歩み 1-4 震災前までの蒲生干潟 2 震災後の蒲生干潟の状況 2-1 蒲生干潟の震災後の出来事 ・年表を作成 2-2 蒲生干潟の現状 ・地形、底質、塩分濃度、干潟間隙水、植生、底生動物、大型藻類、魚類、鳥類、人の空間利用、重要種など 3 自然再生目標と課題 3-1 自然再生の目標（将来像） 3-2 現況評価と課題 4 目標を達成するための取組 4-1 目標を達成するための取組	→変更なし →第18回協議会決定区域を反映 →現構想1-3のうち、内容を要約 →現構想の2-1の内容を要約 防潮堤工事の流れ、協議会の動き、その他とりまく環境の変化など 津波後の形(河口)、塩分濃度の変化、ハママツナ増、底生生物多様性低下鳥類の分布状況など 既存の文献を中心にとりまとめ、委員の役割分担によるとりまとめ 現構想2-3の内容の一部を更新